彩湖自然学習センター
Vol.8 2007. 2

# 彩湖だより

SAIKO

ツグミ

## 春を待つ！

ミニ・彩湖、ザリガニ池を渡る風にはまだ肌寒さを感じますが、春は確実に近づいてきています。

今年は暖冬。1月の声を聞く中で、タンポポの早咲き・雪国では記録的な少雪・沖縄ではセミが鳴き出したとのこと。ここ、彩湖自然学習センターでもスイセンの花が満開となりました。

耐寒処理をして冬の眠りについた木々の芽も、間もなく膨らみ始めます。自然豊かな彩湖周辺に、四季折々の花を・虫を・野鳥を求めて、是非おでかけください。

**彩湖は最高！さあ行こう！**

# 彩湖の植物

## 【気の毒な名前の植物】

植物の和名は古くからあった名前をそのまま採用しているものが多いですが、１種類にローカル名や別名など３～４個の名前が付いていることなどは珍しくありません。新しく名付ける場合は比較的自由につけているようです。それでも、役に立たないと云う意味で頭にイヌとかネズミなどの動物の名をつけたり（イヌムギ、ネズミムギ等）、似ているからと云って後にモドキをつけること（例チチコグサモドキ）などが慣例になっているようです。

ところが中には、侮蔑を意味する言葉を使ったり、残酷な言葉を使ったりして、植物にとってはまことに迷惑であり、気の毒な名前をつけられたものがあります。彩湖の植物の中にもそのような和名のついた気の毒な植物がありますので、そのうちの幾つかを紹介しましょう。

### ▼ブタクサ（キク科）

英名がHogweedで直訳して豚草と名付けられた。荒れ地に大繁殖して多量の風媒花の花粉を撒き散らせて花粉症の原因となるので嫌われています。そんなことから侮蔑の言葉としてよく使われる"ブタ"が直訳のまま使われたようです。

### ▼ブタナ（キク科）

大形で枝分かれして咲いているタンポポのように見えます。ヨーロッパ原産の帰化植物でフランス語で俗名Salade de porc（豚のサラダ）を訳して名付けられたようです。ブタ呼ばわりされるような花でないとの同情からか、タンポポモドキの別名もあります。

### ▼ヘクソカズラ（アカネ科）

茎葉をもむと排泄物のような悪臭がするのでこの名が付けられたと云う。可愛い花のイメージからヤイトバナの別名もあります。

### ▼ママコノシリヌグイ（タデ科）

これほど残酷な名前を付けられた植物は外に例がないでしょう。蔓性の茎に鋭い逆刺があり、ちょっと擦っただけでもミミズ脹れができます。これで継子のお尻を拭いて虐待するという発想で名付けるということは、現在ではとても考えられないことでしょう。可憐な小花をつけるこの植物もいい迷惑です。

### ▼ハキダメギク（キク科）

小さな可愛い花を咲かせますが、ゴミ捨て場で発見されたのでこの名が付けられました。気の毒な名前の植物の代表的なひとつです。同じゴミ捨て場でも東京都のゴミ捨て場（夢の島）で発見されたものに、ユメノシマガヤツリのようにロマンを感じさせる名が付けられたものもあります。

なお、トダスゲなどのように発見された場所に因んで命名されることはたくさんあります。

### ▼ヌスビトハギ・アレチヌスビトハギ（タデ科）

ヌスビトハギは在来種で、莢果の折れ曲がった形がちょうど人差し指を曲げて泥棒を表す形に似ているのでヌスビトの名が使われたようです。また彩湖の周りには花がやや大きくピンク色で美しい帰化植物のアレチヌスビトハギが目立っています。埋立地等に多く見られるのでアレチ（荒れ地）が付けられたようです。

## ◆60年前と比べて……

皆さんはちょっと立ち止まって、昔のことを考えてみたことはありませんか？

６０年前と比べて、全国の人口は約５千万人、平均寿命は約３０才増えました。博物館は２３９館から８０６館増えて1，０４５館に、図書館は７４２館から1，８５1館増えて2，５９３館にもなりました。

６０年前、教育基本法ができた当時、その頃は無かったテレビ・パソコン・携帯電話などは今ではどの家にもあって当たり前、情報はあふれ、これらの無い生活なんて考えられません。

自然のことだって何だってすぐに調べられるし、調べることのできる今だからこそ、６０年前より減ってしまった自然に直接触れて、大いに考えて欲しいと思います。

五感を通じて感受性を豊かにすることの意義は、とても大きなものがあります。大切なことは「子ども達が、自分で経験したり学んだことなどを生かして、新しい問題を見つけて自分で判断したり、表現したり、行動できるようになること」です。"自分で"ということが大切なことなのです。

彩湖自然学習センター活用検討委員会では「自然観察ワークシートⅡ」（改訂版）を各学校にお届けしています。充分に活用してください。併せて、使い勝手のよいホームページを作成しました。全体のマップから特定場所の自然が観察できますので、彩湖を訪れる際の事前学習に是非ご利用ください。

# 彩湖自然学習センター講座

## 土・日曜は自然の中へ！

### 木の実を使ったリースづくり　親子ふれあい講座

★06.12.9

クリスマスやお正月が近づくと部屋飾りにリースを作ってみたいと思いませんか。そんな思いを持った親子の皆さんが集まって、マツカサ、ナンキンハゼの白い実、ノイバラの赤い実などをたくさん使ってリースを作りました。クズのつるで作った輪にススキのミミズクもつけました。大きなリボンをつけて出来上がりです。

### ミクロの世界をのぞこう　こども自然観察教室

★06.6.10

センターには池が３つあります。ザリガニ池、四角池、ミニ彩湖です。ザリガニ池をのぞいて見ると、赤い色をしたアメリカザリガニが歩いています。四角池とミニ彩湖ではクチボソが泳いでいるのが見えます。さて、水の中には他の生物はいないだろうかと顕微鏡で見てみました。ミニ彩湖から取ってきた水をスポイトで１滴スライドガラスにたらして、２００倍で見ました。いました、いました動いています。ケンミジンコです。丸い形でまわりにとげとげがついた緑色のクンショウモも見つかりました。

### ネイチャークラフト～竹細工～　こども自然クラブ

★07.2.17

竹は寒い冬に切ったものがよいとされています。１月に切って乾燥させた竹を使って貯金箱や花瓶を作りました。風のない好天気でしたがやはり冬です。凍える手でノコギリを使いました。形ができて、ナイフで角を落としきれいにしました。少しいびつな気もしますが、自分で作ったものです。気に入った作品になりました。こんどは竹とんぼに挑戦してみようかな。

# 彩湖周辺散策 ……〔道満河岸釣り場…旧水路跡〕

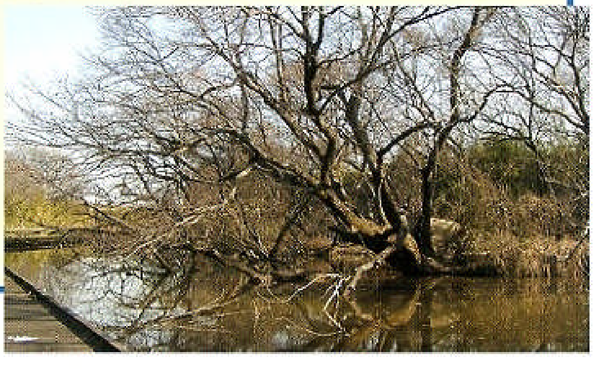
通称「釣場」と言われている〔道満河岸釣り場〕は、かつては荒川の流域でした。秩父と東京深川を結ぶ水上交通の要所で、船着場（現在の金魚釣り場付近）もあり賑わっていました。しかし、この付近で荒川は激しく蛇行していたために洪水も絶えませんでした。

そこで１９２８年（昭和３年）国家事業である荒川河川改修工事の際に、新たに造られた流路によって切り離され、さらに横堤の構築でせき止められ池として残ったものが、「道満河岸釣り場」となりました。現在は戸田市観光協会が管理しています。

この「釣場」は、特に春の季節はおすすめで、入り口門から管理小屋まで続く桜並木と釣り場の水面すれすれまで枝を伸ばした桜は見ごたえがあります。さらに奥に足を進めると、道満グリーンパーク内で唯一昔の名残を留めている貴重な場所があります。ここは彩湖の周りを巡る散歩コースからも眺めることができますが、散歩を楽しむ方々の多くは、かつて足下を荒川が流れていたとは知る由もなく通りすぎていることと思われます。

ここでは、カワセミ・ゴイサギ・カイツブリなどの鳥の営巣、アカメヤナギの老木やハンノキ、今となっては珍しいイヌスギナなどの植物がみられます。またタヌキやホンドキツネ、ホンドイタチなどが餌を求めて現れるという目撃情報も度々あり、数少ない生き物にとっては貴重な場所となっています。しかし、近年この付近では野良猫が増え、他の貴重な生物に影響は無いものかと懸念しています。

荒川の度重なる洪水の歴史を知る手掛かりとして、また貴重な生物のすめる環境の保護といった観点からも、今後大切にしていきたい場所なのです。



# 戸田市小・中学校新任教員の施設体験研修会

平成１８年８月１８日（金）に、彩湖自然学習センターにおいて、戸田市小・中学校新任教員の施設体験研修会が開催されました。

この研修会の目的は、施設体験を通して市内の各施設を知るとともに、今後の多様な教育活動の展開に役立てるために毎年開催され多くの新任教員等が参加しています。

今回もこの研修会には、市内小・中学校新任教員等２４名が参加しました。

まず当センターでは、概要説明及び館内見学、体験学習（ザリガニつり）という内容でした。

センター各階の説明に真剣に耳を傾けて聞いてくださり、職場に持ち帰って実践教育に役立てようとする意気込みが、見られました。

今後この研修が、教育の場（実践教育）で役立てられるよう期待します。

「ザリガニつり」では、新任の教師の皆さんが、童心にかえって、夢中で釣っていた姿が印象的でした。

詰め込み教育では、味わえない子ども達の目線に立った教育の必要性を、実感されました。

## 彩湖自然学習センター 年度別入館者一覧表

| 年度 | 入館者数 | 開館日 | 1日平均 |
|---|---|---|---|
| 平成９年度 | 19,116人 | 234日 | 81.7人 |
| 平成10年度 | 20,295人 | 284日 | 71.5人 |
| 平成11年度 | 16,456人 | 285日 | 57.7人 |
| 平成12年度 | 24,717人 | 281日 | 88.0人 |
| 平成13年度 | 29,338人 | 293日 | 100.1人 |
| 平成14年度 | 32,128人 | 296日 | 108.5人 |
| 平成15年度 | 33,278人 | 298日 | 111.7人 |
| 平成16年度 | 29,253人 | 295日 | 99.2人 |
| 平成17年度 | 24,302人 | 311日 | 78.1人 |
| 平成18年度 | 20,256人 | 274日 | 73.9人 |
| 計 | 249,139人 | 2,851日 | 87.4人 |

## 平成18年度月別入館者数

| 月 | 入館者数 | 開館日 | 1日平均 |
|---|---|---|---|
| 4月 | 1,790人 | 28日 | 63.9人 |
| 5月 | 2,604人 | 27日 | 96.4人 |
| 6月 | 2,308人 | 27日 | 85.5人 |
| 7月 | 2,329人 | 28日 | 83.2人 |
| 8月 | 1,835人 | 28日 | 65.5人 |
| 9月 | 2,522人 | 28日 | 90.1人 |
| 10月 | 2,919人 | 28日 | 104.3人 |
| 11月 | 1,859人 | 28日 | 66.4人 |
| 12月 | 857人 | 28日 | 30.6人 |
| 1月 | 1,233人 | 24日 | 51.4人 |
| 2月 | | | |
| 3月 | | | |
| 計 | 20,256人 | 274日 | 73.9人 |

## 平成19年度 講 座 案 内

| 月 | 講座 |
|---|---|
| 4月 | こども自然観察教室「野の花であそぼう」 |
| | 自然観察会「食べられる野草」 |
| 5月 | 健康増進講座「荒川ウォーキング」 |
| | 第1回こども自然クラブ「結団、ザリガニつり」 |
| | 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥：初夏」 |
| 6月 | こども自然観察教室「ミクロの世界をのぞこう」 |
| | 第2回こども自然クラブ「トダスゲ保護とザリガニのしかけ」 |
| | 親子ふれあい講座「親子ザリガニつり」 |
| 7月 | 生き物を育てよう「スズムシ配布」 |
| | 第3回こども自然クラブ「昆虫ウォッチング：夏」 |
| | 自然観察会「昆虫ウォッチング：夏」 |
| | 夏休み特別講座「魚の壁掛けをつくろう」 |
| | 夏休み理科自由研究相談会 |
| 8月 | 自然観察会「夏の野原」 |
| 9月 | 第4回こども自然クラブ「昆虫ウォッチング：秋」 |
| | 自然観察会「昆虫ウォッチング：秋」 |
| 10月 | こども自然観察教室「ススキのミミズクをつくろう」 |
| | 健康増進講座「彩湖ウォーキング」 |
| 11月 | 第5回こども自然クラブ「探検：彩湖」 |
| | こども自然観察教室「落ち葉を使った壁掛けをつくろう」 |
| | 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥：初冬」 |
| 12月 | 親子ふれあい講座「木の実を使ったリースづくり」 |
| | 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥：真冬」 |
| | 自然観察会「春の七草の寄せ植え」 |
| 1月 | 自然観察会「春の七草がゆ」 |
| | こども自然観察教室「秘密の基地づくり」 |
| | 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥：厳冬」 |
| 2月 | 第6回こども自然クラブ「竹細工」 |
| | 野鳥観察会「彩湖周辺の野鳥：晩冬」 |
| | こども自然観察教室「竹細工に挑戦」 |
| 3月 | 第7回こども自然クラブ「探検：ヨシ原、解散式」 |

※内容等変更する場合がありますので、電話・ホームページにてご確認下さい。

## ご利用案内

- 開館時間／午前10時から午後4時30分まで
- 休館日／①月曜日（ただし、この日が第1・第3月曜日と休日に当たるときは除く）
  - ②年末年始（12月29日～1月4日の7日間）
  - ③館内整理日（毎月末日）（ただしこの日が土曜日・日曜日・休日に当たるときは除く）
  - ④その他教育委員会が必要と認めた日
- 入館無料

## 交通案内

### お車ご利用の場合

- 東京外環自動車道　戸田西ＩＣより約0.5km
- 新大宮バイパス　美女木交差点より約１km

### 電車ご利用の場合

- ＪＲ武蔵浦和駅から下笹目行きバス

「修行目」バス停下車徒歩８分

**彩湖自然学習センター**

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地
ＴＥＬ048-422-9991　ＦＡＸ048-422-9993
URL http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html
E-mail kyo-saiko@city.toda.saitama.jp

・この彩湖だよりは環境にやさしい再生紙を使用しています。